

政策分野2

【子育て・教育】

子育て・教育環境が充実するまちづくり

2-1 子どもを生み育てやすい環境をつくる
(子育て)

2-2 地域ぐるみの教育環境をつくる
(学校支援・子供支援)

2-3 豊かな心を育む教育を進める
(義務教育)

2-4 地域で学びの力を発揮する人材を育てる
(社会教育)

2-5 生涯スポーツを楽しむ人を増やす
(スポーツ活動)

子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）

基本的な施策の方向性

少子化が進み核家族や共働き家庭が増加する中で、子どもと家族、子どもと地域の関係をとりにくく社会環境が目まぐるしく変化しています。

このような状況に柔軟に対応するため、子どもを真ん中に「島田ならではの子育て」「地域全体での子育て応援」に力を入れ、親と子への切れ目ない支援や子どもを社会全体で健やかに育てていく環境を整えていきます。

施策と内容

1. 家庭を持ちたくなる環境づくりを推進します

少子化の背景にある男女の未婚化には、家庭や子どもを持つことへの経済的な不安をはじめ、職場外などにおける出会いの場の減少といった課題が潜んでいます。

市内で家庭を持つきっかけづくりを積極的に行うとともに、家庭を持った後の夫婦生活や、子どもを産み育てることへの不安を軽減する取り組みにより、安心して生活できる環境を整えていきます。

主要な取り組みの事例

- 家庭を持つきっかけづくりとなる出会いの場の提供
- 不妊治療や不育症治療等に要する経費の一部助成

めざす値

結婚支援事業マッチング成立数
(年間)

H28(2016)
37組

H33(2021)
31組

2. 子育てを温かく見守る環境をつくります

妊娠・出産・子育てに伴う不安や負担をできるだけ軽減するため、切れ目なく包括的に支援する体制を強化します。

併せて、地域における子育て支援を充実させ、子どもの健やかな成長を地域で見守る気運と子育てへの理解を高めていきます。

主要な取り組みの事例

- 子育てに関する必要な支援全般を担う「子ども家庭総合支援拠点」の整備
- 総合相談窓口「子育てコンシェルジュ」の業務内容の充実
- 地域の子育て支援センター¹を通じた子育て仲間同士の交流機会の創出
- 育児サポーター²の派遣による子育てのスタート支援
- ファミリー・サポート・センター事業の充実
- ペアレントサポーター³と協働した「子育て広場」の開催
- 「島田市子育て応援サイトしまいく」による子育て情報の発信

めざす値

ファミリー・サポート・センター会
員数（年度末時点）

H28(2016)
415人

H33(2021)
424人

用語解説

- 1 【子育て支援センター】 地域子育て支援拠点として子育て中の親子にとっての身近な支援場所。子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図り、子育て等に関する相談・援助の実施や子育て関連情報の提供・講習等を実施するための拠点。
- 2 【育児サポーター】 就学前の子どもと同居している妊娠中の母親や出産後間もない子どもをもつ母親に対して、家庭訪問により育児援助・相談を行う育児経験のある保育士
- 3 【ペアレントサポーター】 妊婦から就学前までの保護者の居場所づくりの支援や、公共施設を使った読み聞かせ活動など、子どもの「生きる力」を培う上で重要な家庭教育をサポートする支援員

この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「保育環境の
充実や子育てへの支援」に
おける市民満足度

H28(2016)
41.0%
55.7%

H33(2021)
45.0%
60.3%

政策分野2
子育て・教育

▲こども館プレイルーム「ぼるね」



▲初倉児童センター

3. 安心できる母子保健体制等を整えます

核家族化、少子化、晩婚化、そして地域のつながりの希薄化など、妊娠、出産、子育てにかかる不安や負担感を抱く市民が増えています。これらの不安な思いを軽減させ、母子をやさしく包み込む、温かな支援に努めていきます。

主要な取り組みの事例

- 子育てに関わる総合相談窓口となる「子育て世代包括支援センター⁴」の運営
- 母子保健コーディネーター⁵を通じた妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援
- 乳幼児健康診査や健康相談の実施
- 重度の障害のある子どもの家庭への支援と育児負担の軽減
- 医療費助成を通じた乳幼児等の健全な育成
- ひとり親家庭に対する経済的支援と自立支援

めざそう値

子育て世代包括支援センターでく
の相談件数（年間）

H28(2016)
337 件

H33(2021)
500 件

4. 子育てのしやすい環境を整えます

子どもの健全な育成のため、保育所等や放課後児童クラブ⁶の待機児童の解消に向けた取り組みを進め、保護者の就労支援にもつなげます。

また、子どもの学び・遊びの場や大人の悩みを相談できる場をつくり、子育て世代を支援する環境を整備していきます。

主要な取り組みの事例

- 保育ニーズに合わせた保育定員数の拡大や認定こども園⁷への移行支援
- 保育料の第2子半額、第3子以降の無償化
- 発達に課題のある子どもへの支援体制の構築
- 放課後児童クラブにおける待機児童の解消と指導員不足の解消
- 経済的に厳しい状況に置かれている子どもへの支援

めざそう値

保育所等の年度当初における待機児童数

H28(2016)
24 人

H33(2021)
0 人

用語解説

- 4【子育て世代包括支援センター】妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するため、母子保健にかかる専門職が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う拠点。島田市保健福祉センター1階に現在開設している。
- 5【母子保健コーディネーター】母子保健に関する専門的な知識を持った保健師
- 6【放課後児童クラブ】保護者が仕事等で昼間家庭にいない小学校に就学している児童を放課後の時間帯や夏休み等の長期休暇期間に預かる施設
- 7【認定こども園】幼稚園・保育所のうち、就学前の子どもに教育・保育を提供する機能、地域における子育て支援を行う機能を備える施設について、都道府県から認定こども園としての認定を受けた施設

関連データ

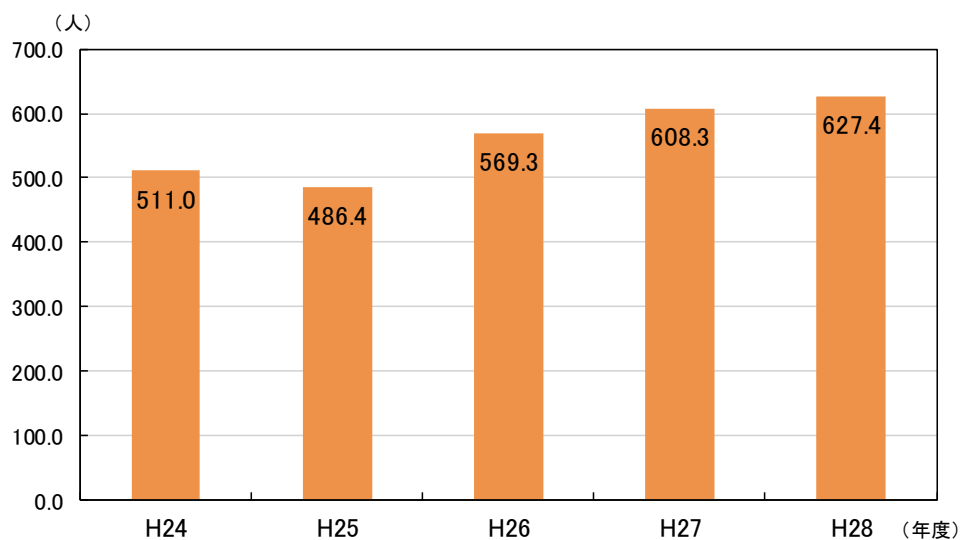
■ 1 歳 6 か月児健康診査受診状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28
対象者（人）	823	797	786	785	772
実施者（人）	815	794	774	785	752
受診率（％）	99. 0	99. 6	98. 5	100. 0	97. 4

■ 3 歳児健康診査受診状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28
対象者（人）	820	854	848	819	822
実施者（人）	822	848	848	816	814
受診率（％）	100. 2	99. 3	100. 0	99. 6	99. 0

■ 放課後児童クラブ平均登録者数の推移





▲島田市子育てガイドブック「しまいく」



▲島田市子育て応援サイト「しまいく」

地域ぐるみの教育環境をつくる (学校支援・子供支援)

基本的な施策の方向性

社会環境が目まぐるしく変化している昨今、子供と親、子供と地域、子供と学校との関係が希薄化していく傾向にあります。当市は、世代を超えた地域の教育力が子供を育てるという趣旨のもと、生活体験や社会体験、自然体験などの学びの機会を創出しています。

少子化により児童・生徒数の減少が進む中で、地域目線から学校のあり方について検討していくことが求められています。地域全体が問題意識を持ちながら、地域の将来を担う子供たちのためになる教育環境を整えていく必要があります。

施策と内容

1. 地域全体で学校教育を支援します

行政を含め、地域全体で学校教育を支援することにより、教員が子供と向き合える時間を増やし、地域ぐるみで教育力の向上を図ります。

主要な取り組みの事例

- 地域や家庭が一体となって地域の教育力向上を図る「学校支援地域本部事業¹」の実施
- 地域の教員OBや大学生、学校教育支援員²等と連携した寺子屋事業³の推進

めざす値

学校支援地域本部事業等ボランティア活動延べ人数（年間）

H28(2016)
118人

H33(2021)
370人

2. 地域の人・資源を活かした学びの場をつくります

子供たちの夢を膨らませることができるような教育活動を行います。
地域の自然や和文化・スポーツなどを活かした体験の場を創出し、「感動する心」「みとめ合う心」「強い心」を持ったふるさと帰属意識の強い子供を育てます。

主要な取り組みの事例

- 子供の夢を膨らませる活動や、地域資源を活かした教育の実践
- 中山間地域の豊かな自然とゆったりとした生活に触れられる機会の提供
- 「放課後子ども総合プラン⁴」に基づく放課後子ども教室の実施

めざす値

将来の夢や目標を持っている子供の割合

(小学校)

H28(2016)
85.3%

H33(2021)
88.0%

(中学校)

H28(2016)
71.1%

H33(2021)
72.0%

用語解説

- 【学校支援地域本部事業】地域教育協議会（運営委員会）、地域コーディネーター、学校支援ボランティアによって構成される地域全体で学校教育の支援を行う組織を設置し、学校・家庭・地域が一体となって教育を支える体制を整備する事業
- 【学校教育支援員】発達障害や学習障害など、特別な支援を必要とする子供たちに対し、個別の対応を行う支援員
- 【寺子屋事業】社会総がかりで子供たちを育む環境づくりの推進に向けて、家庭等において主体的に学習に取り組む習慣を身に付けることができるよう、地域の教育力を活用して放課後等に学習支援を行う事業
- 【放課後子ども総合プラン】全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」と文部科学省所管の「放課後子ども教室」を一体的あるいは連携して実施するという総合的な放課後対策事業のこと

この柱のみんなでめざそう値

島田に住み続けたい人の
割合（成人式アンケート）H28(2016)
57.5%H33(2021)
63.0%政策分野2
子育て・教育

▲はつくら寺子屋事業

3. 地域ぐるみで望ましい教育環境の実現を目指します

少子化の進行により、学校の児童・生徒数は減少傾向にあります。

児童・生徒の健全な成長を願う教育方法や学校施設等のあり方について、地域の方々と共に協議を進め、教育効果を高められる適正な規模の学校配置の実現を目指していきます。

主要な取り組みの事例

- 子供たちのためになる適切な教育環境の実現

めざそう値

市民意識調査「小・中学校教育の充実」
における市民満足度H28(2016)
47.2%
66.3%H33(2021)
60.0%
76.7%

▲サタデーオープンスクール

豊かな心を育む教育を進める (義務教育)

基本的な施策の方向性

子供たちの成長を支援していくため、新学習指導要領（小学校の外国語教科化や小中学校の道徳教科化など）への対応やICT教育¹の導入など、社会情勢の変化に応じた必要かつ適切な教育環境の整備を進めていきます。

さらに、老朽化が進んだ学校及び学校関連施設について計画的に改築や改修、修繕を進め、子供たちが安全・安心な学校生活を過ごすことができる環境を整えていきます。

また、少子化が進んでいる状況において、問題を抱える子供、支援が必要な子供の数は年々増加しているため、子供たちに平等な教育機会が提供できる体制を構築していきます。

施策と内容

1. 子供たちの成長を支える教育環境を構築します

グローバル化²に対応する外国語教育や情報化に対応するICT環境の整備など、子供たちを取りまく社会情勢の変化を的確に捉え、子供たちが豊かな心や確かな学力等を身につけることができる教育環境の充実に努めていきます。

主要な取り組みの事例

- 幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の連携によるきめ細やかな就学支援体制の推進
- 児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上と、国際感覚を養う事業の推進
- 教科指導へのICT機器の活用拡大
- 豊かな創造性を育むプログラミング教育の推進

めざす値

ALTによる外国語の授業が楽しいと感じる児童・生徒の割合

(小学校)

H28(2016)

94.0%

H33(2021)

95.0%

(中学校)

H28(2016)

89.0%

H33(2021)

90.0%

2. 学校施設を計画的に整備します

長寿命化の視点を踏まえ、老朽化した学校施設を計画的に改築や改修、修繕を実施するとともに、児童・生徒及び教職員の健康面に配慮した設備更新を進めます。

また、学校生活をより安全・安心なものとするとともに、学校施設が災害時における避難所としての役割を果たすよう耐震補強工事を実施します。

主要な取り組みの事例

- 小中学校施設の計画的な改築や改修、修繕のほかトイレ洋式化などの設備工事
- 空調機器の設置を検討するなど、学校環境衛生基準に沿った教育環境の整備

めざす値

学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合(再掲)

(小学校)

H28(2016)

91.1%

H33(2021)

92.0%

(中学校)

H28(2016)

86.0%

H33(2021)

88.0%

用語解説

1【ICT教育】情報通信技術（ICT）を教育で活用すること

2【グローバル化】情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物、情報の国際的移動が活性化して、様々な分野で「国境」の意義があいまいになるとともに、各国が相互に依存し、他国や国際社会の動向を無視できなくなっている現象

この柱のみんなでめざそう値

学校が楽しいと感じる
児童・生徒の割合

H28(2016)
小学校 91.1%
中学校 86.0%

H33(2021)
小学校 92.0%
中学校 88.0%

政策分野2
子育て・教育

▲川根小学校校舎

3. 誰もが平等に教育を受けられる環境をつくります

特別な支援が必要な子供やその保護者を適切に援助し、誰もが平等な教育を受けられる環境を整えていきます。

主要な取り組みの事例

- 生活困窮家庭への学校生活に必要な学用品や給食費等の支援
- 学校教育支援員³、スクールソーシャルワーカー⁴の配置による児童・生徒のサポート
- 不登校児童・生徒及びその保護者に対するきめ細やかな対応
- 関係機関と連携した、いじめ防止対策

めざす値

不登校児童・生徒におけるチャレンジ
教室登録者の割合

H28(2016)
28.7%

H33(2021)
33.3%

4. 安全・安心な学校給食を提供します

安全・安心な学校給食を提供するとともに、日常生活における食事への正しい理解と適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ります。

主要な取り組みの事例

- 学校給食センターの効率的な運営と衛生管理の徹底
- 学校給食における地産地消の推進
- 計画的な施設改修と機器更新

めざす値

学校給食における島田市産農産物の
使用割合(重量)

H28(2016)
37.26%

H33(2021)
40.0%

用語解説

³【学校教育支援員】発達障害や学習障害など、特別な支援を必要とする子供たちに対し、個別の対応を行う支援員

⁴【スクールソーシャルワーカー】いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う専門家

地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）

基本的な施策の方向性

社会の多様化・高度化に伴い、市民一人ひとりが、生涯を通じて学びによる自己実現を図り、地域社会で活躍できる環境づくりが求められています。

そのため、地域の人たちの連携・協働を促し、子供からお年寄りまでライフステージに応じた多種多様な学習機会を提供することで、学んだ成果を社会活動に役立てることのできる場を設けていきます。

昨今、少子高齢化や高度情報化社会の進展により、核家族世帯が増え、コミュニケーションが希薄化するなど、家庭をとりまく環境が急激に変化しています。

青少年が地域の中で、心身ともに健全に成長し、社会の一員として自立、活躍できるよう、家庭や地域が関わりを持ちながら教育力を高めていきます。

施策と内容

1. 生涯学習の充実を図ります

誰もが、いつでも、どこでも学習できる機会を提供するとともに、学習の成果が評価される環境を整備していきます。

主要な取り組みの事例

- 学習のきっかけとなる魅力ある講座の開催
- 地域・学校・家庭等が連携・協働する学習機会の創出
- 地元就職やリターン就職への動機づけ

めざそう値

しまだ楽習センター「ふれあい楽習講座」受講満足度

H28(2016)
76.3%

H33(2021)
81.3%

2. 青少年の健全な育成を支援します

心身ともに健やかで豊かな人間関係を持ち、社会で力を発揮できる自立した若者の育成を推進します。

また、学校や地域、関係機関と連携して、ニート¹や引きこもり²など、困難を抱える子供や若者を支援していきます。

主要な取り組みの事例

- 地域づくりの中核を担う青少年リーダーの養成
- 地域社会が一体となった青少年の見守り活動の推進
- 「しまだ大井川子ども・若者プラン」³に基づく支援
- 「島田市子ども・若者支援地域協議会」における関係機関との連携強化

めざそう値

市民意識調査「青少年の健全育成」における市民満足度

H28(2016)
26.6%
48.6%

H33(2021)
28.0%
50.8%

用語解説

1【ニート】学生でなく、現在働いていない、働くための職業訓練をしていない人

2【引きこもり】社会参加の場面がなく、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態

3【しまだ大井川子ども・若者プラン】子ども・若者が豊かな人間関係を築きながら、自立した個人として健やかに成長していくための支援計画

この柱のみんなでめざそう値

生涯学習の成果を発表した
人の数（年間）H28(2016)
1,955人H33(2021)
2,030人政策分野2
子育て・教育

▲げんきキッズわくわくクラブ 稲刈り

3. 家庭教育を推進し子育て学習を支援します

たくましく生きていくために基本となる生活習慣や、必要となる豊かな情操、規範意識、思いやりの心などは、子育ての中で親から子へ言い聞かせて理解させなくてはなりません。その親に求められる教育力・子育て力を養い、高めていきます。

主要な取り組みの事例

- 子供の基礎的な資質や能力の成長に重要な役割を担う「親力」の養成
- 仲間づくりの場となる家庭教育学級⁴の開催
- 家庭教育講演会を通じた地域の教育力の向上

めざそう値

夜間や休日に開催する家庭教育講座
の参加者数（年間）H28(2016)
194人H33(2021)
300人

4. 図書館機能を充実させ読書活動を支援します

市民の自主的な学習、情報収集を支援するため、市民ニーズにあった蔵書資料を整備するほか、図書館ボランティアの育成や読書への関心を高める取り組みを推進します。

また、子供が小さい頃から読書に親しめるよう公民館等の図書コーナーを充実するとともに、イベントや読み聞かせ会の開催、学校での読書活動を支援します。

主要な取り組みの事例

- 人口に応じた標準蔵書資料数の整備と維持
- 誰もが快適に利用できる図書館機能の充実

めざそう値

人口1人当たりの図書貸出点数
（年間）H28(2016)
5.95点/人H33(2021)
7.28点/人

▲島田図書館



▲ぬいぐるみの図書館おとまり会

用語解説

4【家庭教育学級】家庭教育について親同士が学び合い、迷いや悩み、不安などの解決や解消、親同士のネットワークづくりなどを行う場

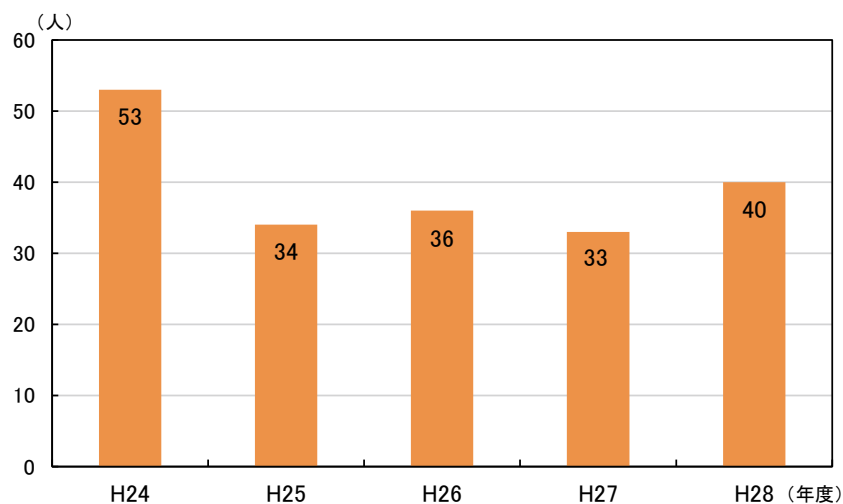
関連データ

■公民館施設等の利用者数の推移

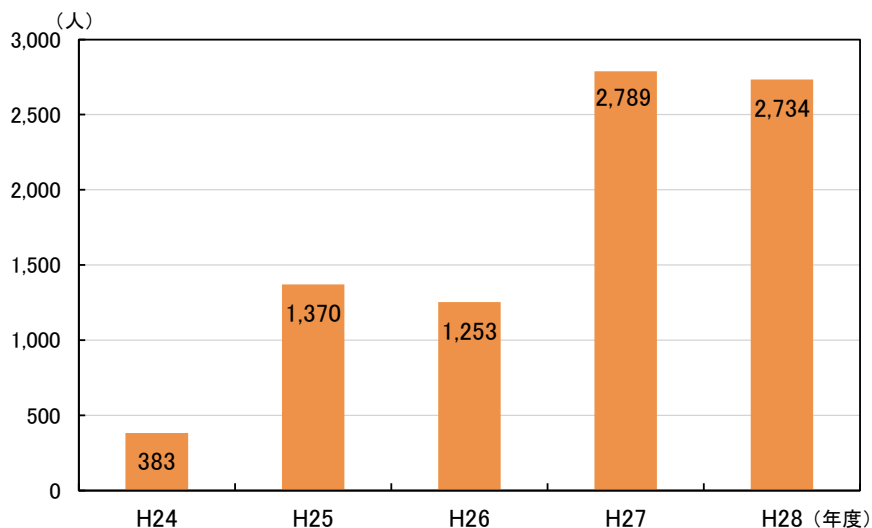
単位：人

年度	H24	H25	H26	H27	H28
金谷公民館	36,684	37,019	40,869	43,008	39,085
初倉公民館	41,137	48,564	42,115	42,899	41,820
六合公民館	40,372	44,009	46,019	46,757	40,994
大津農村環境改善センター	10,967	11,659	12,963	12,130	14,793
伊久身農村環境改善センター	2,800	2,703	2,777	2,255	2,055
北部ふれあいセンター	9,538	9,440	7,984	8,747	8,464
初倉西部ふれあいセンター	8,620	9,264	9,040	10,894	12,063
川根地区センター	12,968	15,004	10,605	9,759	12,114
合計	163,086	177,662	172,372	176,449	171,388

■しまだガンバ参加者数の推移



■家庭教育講座参加者数の推移





▲ペッパーを使用したプログラミング講座

生涯スポーツを楽しむ人を増やす (スポーツ活動)

基本的な施策の方向性

健康づくり・体力づくりを目的とした「市民ひとり1スポーツの実現」に向けて、子供からお年寄りまでの誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

加えて、スポーツ活動の多様化が進む中で、高度なスポーツ活動へのニーズにも対応できる専門的かつ高い技術を持った指導者の育成を進めていきます。

また、モンゴル国ボクシングチームをはじめとする海外チームの2020年東京オリンピック事前合宿等を通じて、トップアスリートの競技力を身近に肌で感じられる機会を設けていくとともに、様々な分野にオリンピック・レガシー¹を創出していきます。

施策と内容

1. 生涯スポーツを普及します

スポーツ推進委員などによる各種スポーツ教室の開催をはじめ、子供から高齢者までのスポーツ活動を支援します。また、取り組みやすいニュースポーツ²の普及・定着を図り、市民の健康増進の一翼を担います。

主要な取り組みの事例

- 魅力的なジュニアスポーツクラブ³の開催
- 誰もが楽しめるニュースポーツ教室の開催
- ライフスタイルにあったスポーツ活動への支援

めざそう値

ニュースポーツ教室の延べ参加者数
(年間)

H28(2016)
1,215人

H33(2021)
1,350人

2. 競技スポーツの推進を図ります

しまだ大井川マラソン in リバティをはじめとする全国レベルの大会の開催やトップアスリートの合宿誘致などにより、高いレベルのスポーツに触れる機会を創出します。
また、市民スポーツの競技力、技術力向上のため、各種大会の開催を支援します。

主要な取り組みの事例

- 海外の2020年東京オリンピック選手団や全国の実業団、大学のチームなどの合宿誘致
- 当市にゆかりのあるスポーツ選手・団体の支援と選手と市民とがふれあう場の創出

めざそう値

新たに設立される競技団体数
(H30年度からの累計)

H28(2016)
—

H33(2021)
1団体

用語解説

1【オリンピック・レガシー】オリンピック・パラリンピック競技大会後に残る有形無形の社会的遺産

2【ニュースポーツ】トランポウオーク、バレーボール、ファミリーバドミントンなどの新しい競技

3【ジュニアスポーツクラブ】子供たちの基礎体力の養成やスポーツに親しむ場の提供のため、小学生を対象に開催するスポーツ教室

この柱のみんなでめざそう値

市主催スポーツ大会
への参加者数（年間）H28(2016)
2,944人H33(2021)
3,300人政策分野2
子育て・教育

▲トランポウオーク

3. スポーツ活動を行う環境を整備します

年齢、性別を問わず誰もが安全・安心にスポーツを楽しむことができるよう、島田球場や大井川河川敷のスポーツ広場などの社会体育施設の整備を進めます。

また、学校体育施設を可能な範囲で開放することで、身近な場所でスポーツを楽しめる機会を創出します。

主要な取り組みの事例

- 社会体育施設の利便性向上と計画的な施設整備
- 学校体育施設の開放
- 田代の郷整備事業地内における「多目的スポーツ・レクリエーション広場」の整備

めざそう値

施設利用者数（社会体育施設）
（年間）H28(2016)
1,143,600人H33(2021)
1,339,600人

関連データ

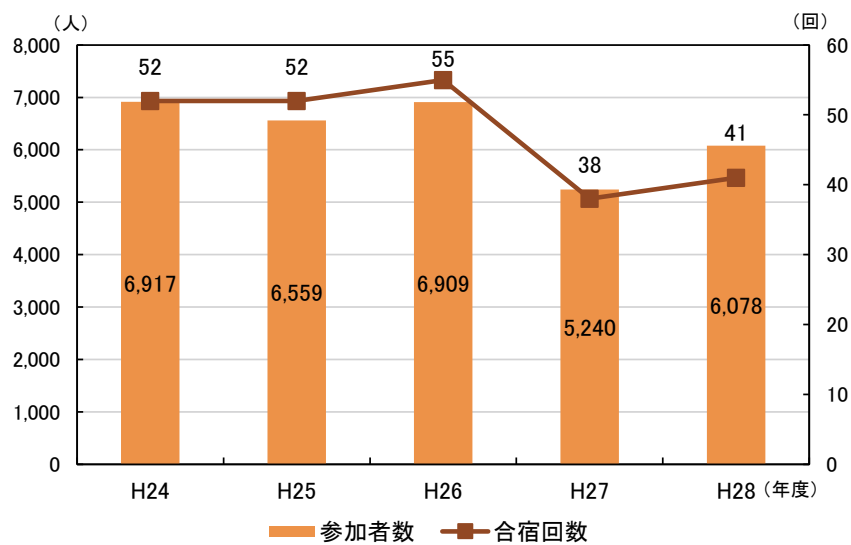
■主な社会体育施設利用者数の推移（市外利用者を含む）

単位：人

年度	H24	H25	H26	H27	H28
島田市総合スポーツセンター	318,730	313,945	314,662	322,021	329,018
中央公園庭球場	23,803	24,291	24,499	25,563	25,570
親子プール	8,227	8,329	7,599	6,583	6,381
伊太庭球場	935	1,495	1,479	1,216	1,401
島田球場	9,469	11,069	10,501	6,128	10,932
島田第二球場	5,387	6,245	6,255	8,143	8,356
第一多目的広場（サッカー場）	2,235	4,463	5,710	22,286	25,059
陸上競技場	9,805	11,442	18,860	3,201	18,364
サッカーグラウンド（横井）	6,270	6,510	5,920	8,620	8,129
ソフトボールグラウンド（横井）	20,420	16,790	18,443	84,058	52,993
阿知ヶ谷グラウンド	2,966	2,397	3,082	2,805	2,558
金谷体育センター	29,186	28,813	29,431	31,038	28,821
金谷プール	2,310	2,021	1,547	1,981	1,919
北五和プール	75	80			
川根野球場	2,485	2,369	3,041	2,890	1,744
川根体育館	4,358	6,027	2,929	3,063	2,217
合計	446,661	446,286	453,958	529,596	523,462

関連データ

■スポーツ合宿の参加者数（延べ人数）及び回数の推移



▲元日マラソン



▲島田市総合スポーツセンター ローズアリーナ 室内プール